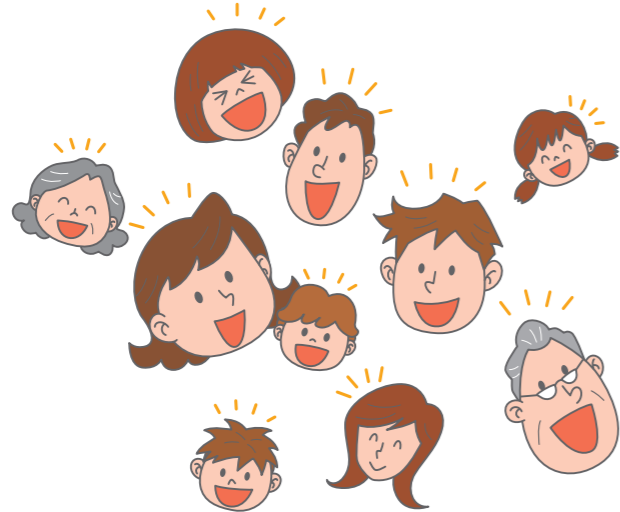


いつのまにか みんな笑顔。



いろいろな行事を通して、協力し合い、真剣に取り組むことで、感動・やる気・喜び・達成感など様々な気持ちを味わうことができます。その中で、相手を思いやる気持ち、助け合う気持ち、優しい気持ちを持ち、それを共有することでみんながひとつになれるのです。

夏祭りの準備や運動会の練習では、大変だと感じることもありますが当日子どもたちの笑顔や成長を見ると大きな達成感を感じます。

職員間でアイデアを出し合い、時代に合った保育の工夫をすることで子どもも職員も笑顔になる素敵な思い出づくりが出来ます。

一つの大きな目標に職員みんなで行き、子どもたちと団結することで絆を深め、そこに自然と笑顔が生まれます。

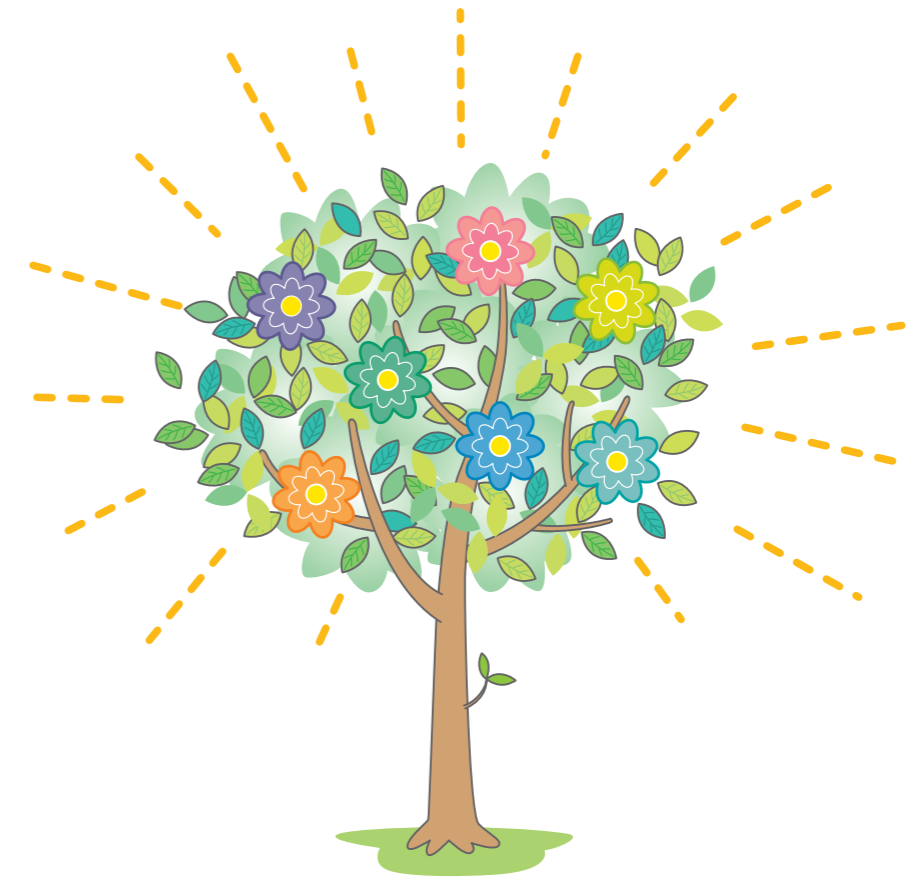
テキパキの 連鎖。



日々、子どもの様子だけでなく、保護者の表情や様子から状況を読みとり、声をかけるようにしています。たとえば、朝のこどもたちの受け入れ時や、連絡帳の記載を見て、こどもの生活リズムが乱れている様子の時は10分ほど寝かせたりしています。こどもたちそれぞれの機嫌や体調を見て、無理なく活動にはいれるように促し、誘いかけてます。

心配事や悩みに直接向き合い、一緒に考え良い方向につながるように職員間で連携を取り合っています。気配りや心配りが当たり前に見える職員がたくさんいて、悩みをすぐに共有出来、毎日スムーズに仕事が進みます。

染まって、染める。 自分の個性を信じて。



ちょっとした心がけや行動など、一人一人の影響が、やがて職場全体にいきわたり、職場環境を作ります。

自分から周囲へ、周囲から自分へ、やる気や優しさが連鎖し、お互いに感謝しあって成長していく。

そんな理想的な環境が、関西福祉会にはあります。

少しずつの行動の積み重ねを続ければ、行動した分だけ、やがて自分にもいい影響が返ってきます。